

令和6年度

財政事情と主要な施策の成果

魚沼地区障害福祉組合

目 次

第 1	組合会計の状況	1
1	決算の概要	1
(1)	決算収支	1
(2)	決算額の推移	2
(3)	歳入の状況	3
ア	歳入科目別内訳	3
イ	負担金及び県支出金の内訳	4
ウ	諸収入の内訳	5
(4)	歳出科目別内訳	6
(5)	年度別の主な請負工事と購入備品	7
(6)	組合費及び繰越金の推移	8
(7)	基金積立金の状況	9
(8)	地方債現在高の状況	9
(9)	決算の特徴	10
第 2	業務の概要と成果	12
1	入所児童・利用者の概況（令和 7 年 3 月 31 日現在）	12
2	短期入所事業・日中一時支援事業の状況	14
3	職員の状況	15
4	施設運営・支援の概要	15
5	今後の課題	16

第1 魚沼地区障害福祉組合会計の状況

1 決算の概要

(1) 決算収支

魚沼地区障害福祉組合会計の決算額

歳入 401,729千円(令和5年度 408,764千円)
歳出 388,795千円(令和5年度 390,235千円)

前年度に比べて歳入歳出は次のようになりました。

歳入 7,035千円減(1.7%減)
歳出 1,440千円減(0.4%減)

形式収支

令和6年度の形式収支(歳入歳出差引額)は、12,934千円となりました。
(令和5年度 18,529千円)

実質収支

令和6年度の実質収支(形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額)は、12,934千円となりました。
(令和5年度 18,529千円)

単年度収支

実質収支12,934千円から、前年度実質収支18,529千円を差し引いた単年度収支額は、▲5,595千円となりました。
(令和5年度 ▲9,339千円)

実質単年度収支

単年度収支に財政調整基金積立金4,600千円を加え、これから当該年度において取り崩した財政調整基金繰入金20,000千円を差し引いた実質単年度収支額は、▲20,995千円となりました。
(令和5年度 ▲6,471千円)

(2) 決算額の推移

(単位：千円)

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	前 年 度 比 較	決 算 額	前 年 度 比 較
平 成 28年度	305,051	▲ 433,040	278,313	▲ 398,212
平 成 29年度	325,817	20,766	286,632	8,319
平 成 30年度	363,222	37,405	317,422	30,790
令 和 元年度	395,560	32,338	369,507	52,085
令 和 2年度	424,937	29,377	384,430	14,923
令 和 3年度	413,300	▲ 11,637	388,640	4,210
令 和 4年度	463,581	50,281	454,391	65,751
令 和 5年度	408,764	▲ 54,817	390,235	▲ 64,156
令 和 6年度	401,729	▲ 7,035	388,795	▲ 1,440

(3) 歳入の状況

ア 歳入科目別内訳

(単位：千円)

区	分	令和6年度	令和5年度	増 減		
分担金及び		312,550	306,812	5,738		
負担金	市町 分担金	経常費分担金	61,091	60,000	1,091	
		施設整備費 分 担 金	40,204	39,827	377	
	負担金	児童福祉費		211,255	206,985	4,270
			市町居宅生活 給 付 費	13,072	15,302	▲ 2,230
			市町居宅生活 給 付 費	10,591	11,828	▲ 1,237
			障害児童施設利 用者負担金	1,019	1,759	▲ 740
		居宅生活支援 利用者負担金	1,462	1,715	▲ 253	
		社会福祉費		198,183	191,683	6,500
			市町施設入所支 援介護給付費	164,666	162,917	1,749
			市町居宅生活 支 援 費	15,744	10,307	5,437
	施設支援介護利 用者負担金		17,190	18,000	▲ 810	
	居宅生活支援費 利用者負担金	583	459	124		
	県支出金		46,314	55,125	▲ 8,811	
		県補助金	0	0	0	
	県委託金	児童福祉費 委 託 金	17,889	10,108	7,781	
	施設給付金	障害児施設 給 付 金	28,425	45,017	▲ 16,592	
財産収入	基金及び積立金	26	25	1		
寄 附 金	寄 附 金	95	106	▲ 11		
繰 入 金	基金繰入金	23,670	36,910	▲ 13,240		
繰 越 金	前年度繰越金	18,529	9,190	9,339		
諸 収 入		545	596	▲ 51		
	雑 入	545	596	▲ 51		
組 合 債	組 合 債	0	0	0		
歳 入 合 計		401,729	408,764	▲ 7,035		

イ 負担金及び県支出金の内訳

(単位:千円)

区 分		比 較			魚 沼 学 園			魚 沼 更 生 園			合 計		
		令和6年度	令和5年度	増 減	令和6年度	令和5年度	増 減	令和6年度	令和5年度	増 減			
負 担 金	学 園	市町障害児施設入所給付費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		市町居宅生活給付費	10,591	11,828	▲ 1,237	0	0	0	10,591	11,828	▲ 1,237		
		障害児童施設利用者負担金	1,019	1,759	▲ 740	0	0	0	1,019	1,759	▲ 740		
		居宅生活支援利用者負担金	1,462	1,715	▲ 253	0	0	0	1,462	1,715	▲ 253		
		小 計	13,072	15,302	▲ 2,230	0	0	0	13,072	15,302	▲ 2,230		
	更 生 園	市町施設入所支援介護給付費	0	0	0	164,666	162,917	1,749	164,666	162,917	1,749		
		市町居宅生活支援費	0	0	0	15,744	10,307	5,437	15,744	10,307	5,437		
		施設支援介護利用者負担金	0	0	0	17,190	18,000	▲ 810	17,190	18,000	▲ 810		
		居宅生活支援費利用者負担金	0	0	0	583	459	124	583	459	124		
		小 計	0	0	0	198,183	191,683	6,500	198,183	191,683	6,500		
計	13,072	15,302	▲ 2,230	198,183	191,683	6,500	211,255	206,985	4,270				
県 支 出 金	委 託 金	管理委託基準による事務費	12,889	6,984	5,905	0	0	0	12,889	6,984	5,905		
		重 度 指 定 加 算	25%	0	0	0	0	0	0	0	0		
			30%	0	0	0	0	0	0	0	0		
			計	0	0	0	0	0	0	0	0		
	重 度 重 複 障 害 児 加 算 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	被 虐 待 児 受 入 加 算 費	573	408	165	0	0	0	573	408	165			
	生 活 諸 費	2,333	1,182	1,151	0	0	0	2,333	1,182	1,151			
	教 育 費	362	27	335	0	0	0	362	27	335			
	高 等 部 進 学 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	見 学 旅 行 費	0	17	▲ 17	0	0	0	0	17	▲ 17			
	入 進 学 支 度 金	145	0	145	0	0	0	145	0	145			
	学 校 給 食 費	238	53	185	0	0	0	238	53	185			
	期 末 一 時 扶 助 費	24	11	13	0	0	0	24	11	13			
	採 暖 費	187	95	92	0	0	0	187	95	92			
	就 職 支 度 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	幼 稚 園 費	0	84	▲ 84	0	0	0	0	84	▲ 84			
	乳 幼 児 加 算 費	0	234	▲ 234	0	0	0	0	234	▲ 234			
緊 急 一 時 保 護 委 託 料	1,138	1,013	125	0	0	0	1,138	1,013	125				
計	17,889	10,108	7,781	0	0	0	17,889	10,108	7,781				
施 設 給 付 金	28,425	45,017	▲ 16,592	0	0	0	28,425	45,017	▲ 16,592				
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
計	46,314	55,125	▲ 8,811	0	0	0	46,314	55,125	▲ 8,811				
合 計	59,386	70,427	▲ 11,041	198,183	191,683	6,500	257,569	262,110	▲ 4,541				

ウ 諸収入の内訳

(単位：千円)

区	分	令和6年度	令和5年度	増 減
雑 入	更生園作業収入	93	93	0
	実習生受入謝礼	12	121	▲ 109
	外来者等給食提供 徴収実費	1	0	1
	会計年度任用職員 雇用保険料	253	263	▲ 10
	共済保険料還付金	58	0	58
	保険等事務手数料	12	11	1
	私用複写機使用料	0	1	▲ 1
	公衆電話 委託使用料	1	1	0
	自動販売機 設置負担金	6	5	1
	不用鉄屑当 売払い金	7	21	▲ 14
	建物災害共済金	66	59	7
	魚沼更生園 破損箇所材料費	0	3	▲ 3
	電柱土地使用料	0	18	▲ 18
	衣類乾燥除湿器リ コールによる返金	30	0	30
掃除用具入れ損害 補償金	6	0	6	
合 計		545	596	▲ 51

(4) 歳出科目別内訳

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減
議会費	38	50	▲ 12
総務費	22,101	35,316	▲ 13,215
総務管理費	22,076	35,291	▲ 13,215
1一般管理費	8,516	7,151	1,365
2財産管理費	8,934	17,624	▲ 8,690
3基金費	4,626	10,516	▲ 5,890
財政調整基金	4,600	10,490	▲ 5,890
施設整備基金	26	26	0
監査委員費	25	25	0
監査委員費	25	25	0
民生費	326,887	315,042	11,845
児童福祉費	96,107	101,193	▲ 5,086
1児童福祉総務費	84,456	88,434	▲ 3,978
(人件費)	(72,280)	(76,044)	▲ 3,764
2指導訓練費	11,651	12,759	▲ 1,108
(扶助費)	(8,359)	(8,676)	▲ 317
社会福祉費	230,780	213,849	16,931
1社会福祉総務費	202,467	184,295	18,172
(人件費)	(179,760)	(161,616)	18,144
2支援費	28,313	29,554	▲ 1,241
(扶助費)	(16,030)	(16,195)	▲ 165
公債費	39,769	39,827	▲ 58
償還利子	1,895	2,058	▲ 163
償還元金	37,874	37,769	105
歳 出 合 計	388,795	390,235	▲ 1,440

(5) 年度別の主な請負工事と購入備品

(単位：千円)

年 度	金 額	項 目
令和2年度	2,673	魚沼更生園管理棟トイレ改修工事
	1,518	魚沼更生園居室2室化改修工事
	1,287	魚沼更生園受水槽ポンプ入替工事
	1,199	魚沼更生園居室等エアコン更新工事
	1,177	魚沼更生園屋根裏コウモリ駆除対策工事
	814	業務用乾燥機入替工事
	482	体育館FF暖房機取替工事(2台)
	473	魚沼更生園コードレス電話設備増設工事
	406	魚沼更生園換気扇等更新工事
	210	魚沼更生園防犯灯、駐車場照明取付工事
	1,210	利用者外出用公用自動車購入費
	439	パソコン入替購入(3台)
	57	3連スクリーン
	88	非接触型検知器サーモマネージャー 魚沼学園入替備品
145	全自動洗濯機入替購入(3台) 魚沼更生園入替備品	
計	12,178	
令和3年度	1,980	魚沼更生園居室2室化改修工事
	1,914	魚沼学園女子浴室改修工事
	1,298	業務用洗濯機入替設置工事
	1,045	魚沼更生園女子便所修繕工事
	704	魚沼更生園2階廊下照明器具更新工事
	99	柘植10本伐根処理作業
	96	魚沼更生園観察室モニター取付工事
	64	木製ベッド購入
	250	全自動洗濯機入替購入(2台)
	442	パソコン購入(3台)
	99	ファイル共有NAS入替購入
計	7,991	
令和4年度	59,950	魚沼更生園外部改修工事
	385	魚沼更生園居室エアコン更新工事
	517	職員室照明器具更新工事
	187	パソコン購入(1台)
	326	ネットワークサーバ機器
計	61,365	
令和5年度	737	事務室及び園長室照明器具更新工事
	352	魚沼更生園居室エアコン更新工事
	769	魚沼更生園居室バリアフリー改修工事
	4,510	作業棟外部塗装工事
	1,650	バス車庫外部塗装工事
	2,585	プール塗装工事
	65	業務用炊飯器購入
	104	木製ベッド購入(2台)
	52	液晶テレビ購入
291	ロールカーテン付配膳車購入	
計	11,115	
令和6年度	2,068	魚沼学園棟 木製外壁塗装工事
	935	魚沼更生園作業室照明器具更新
	385	魚沼更生園多目的ホール及び居室エアコン更新工事
	248	魚沼更生園こすもすホーム建具入替工事
	34	魚沼更生園作業室スピーカー取付工事
	204	ノートパソコン入替購入(1台)
	112	木製ベッド購入(2台)
計	3,986	

(6) 組合費及び繰越金の推移

(単位：千円)

年度	経常費分担金	建設費分担金	特別負担金	分担金計 A	歳出総額 B	歳出総額に占める 分担金の割合	前年度繰越金
H23	注 1 60,045	0	0	60,045	345,812	17.36%	5,683
H24	注 2 68,738	0	0	68,738	388,296	17.70%	20,964
H25	注 3 62,660	0	0	62,660	310,276	20.19%	23,264
H26	注 4 60,853	注 5 67,000	0	127,853	676,525	18.90%	42,898
H27	注 6 58,000	注 7 9,145	0	67,145	787,880	8.52%	61,566
H28	注 8 55,000	注 9 2,853	0	57,853	278,313	20.79%	1,408
H29	注10 57,076	注11 2,888	0	59,964	286,632	20.92%	26,738
H30	注12 61,111	注13 23,644	0	84,755	317,422	26.70%	39,185
R1	注14 62,182	注15 40,112	0	102,294	369,507	27.68%	45,800
R2	60,000	注15 40,017	0	100,017	384,430	26.02%	26,053
R3	60,000	注15 39,954	0	99,954	388,640	25.72%	40,507
R4	60,000	注15 39,891	0	99,891	454,391	21.98%	24,660
R5	60,000	注15 39,827	0	99,827	390,235	25.60%	9,190
R6	注16 61,091	注15 39,764	0	100,855	388,795	25.68%	18,529

- 注 1 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分3,045千円を含む。
 注 2 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分3,738千円を含む。
 注 3 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,660千円を含む。
 注 4 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,853千円を含む。
 注 5 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
 注 6 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分3,054千円を含む。
 注 7 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
 注 8 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分3,114千円を含む。
 注 9 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
 注 10 新潟市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,076千円を含む。
 注 11 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
 注 12 新潟市（組合構成団体外）より管外児童分1,111千円を含む。
 注 13 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
 注 14 新潟市・長岡市（組合構成団体外）より管外児童分2,182千円を含む。
 注 15 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
 注 16 柏崎市（組合構成団体外）より管外児童分1,091千円を含む。

(7) 基金積立金の状況

(単位：千円)

項目別	令和5年度末残高	令和6年度中増減		令和6年度末残高	備考
		積立額	取崩額		
施設整備基金	94,333	26	3,670	90,689	
財政調整基金	39,728	4,600	20,000	24,328	
計	134,061	4,626	23,670	115,017	

(8) 地方債現在高の状況

(単位：千円)

発行年度	区分	令和5年度末現在高	令和6年度					借入先	借入利率	その他借入条件
			発行額	償還金			年度末現在高			
				元金	利子	計				
26	社会福祉施設整備事業	83,228	0	7,305	570	7,875	75,923	地方公共団体金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置/17年償還)
26	施設整備事業 (一般財源化分)	110,836	0	10,076	542	10,618	100,760	新潟県市町村振興協会	0.5% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置/17年償還)
26繰越	社会福祉施設整備事業	89,688	0	7,516	615	8,131	82,172	地方公共団体金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置/17年償還)
26繰越	施設整備事業 (一般財源化分)	114,840	0	9,570	112	9,682	105,270	新潟県市町村振興協会	0.1% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置/17年償還)
27	社会福祉施設整備事業	2,068	0	173	14	187	1,895	地方公共団体金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置/17年償還)
27	施設整備事業 (一般財源化分)	38,808	0	3,234	38	3,272	35,574	新潟県市町村振興協会	0.1% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置/17年償還)
計		439,468	0	37,874	1,891	39,765	401,594			

(9) 決算の特徴

歳入について

歳入総額は 401,729 千円となり、前年度決算額（408,764 千円）対比 7,035 千円（1.7%）の減額となりました。その主な特徴は以下のとおりです。

① 1 款「分担金及び負担金」関係

1 項 1 目の市町分担金については、経常費分は前年度同額でしたが、組合構成外自治体からの分担金があったため、対前年度比 1,091 千円の増額となりました。

魚沼学園建替工事に伴う施設整備事業費分担金については、対前年度比 63 千円の減額となりましたが、児童手当制度改正実施円滑化事業に係る分担金 440 千円により全体で 377 千円増額となりました。

2 項 1 目の児童福祉費負担金は、入所利用者、短期入所利用者が減少したため、全体で対前年度比 2,230 千円の減額となりました。

2 項 2 目の社会福祉費負担金は、報酬改定に伴って施設入所支援介護給付費、負担金が 9,483 千円の増額となった一方、生活介護に係る給付費、負担金は 3,170 千円の減額、短期入所利用に係る給付費、負担金は 187 千円の増額となり、社会福祉費負担金全体では対前年度比 6,500 千円の増額となりました。

② 2 款「県支出金」関係

県支出金は、委託金は措置児童が増加したことにより対前年度比 7,781 千円の増額になりました。一方、利用契約に係る給付費については利用者が減少したことにより 16,592 千円の減額となったことから、全体では対前年度比 8,811 千円の減額となりました。

③ 5 款「繰入金」関係

今年度は、財政調整基金 20,000 千円、施設整備基金 3,670 千円の繰入れを行い、13,240 千円の減額となりました。

④ 6 款「繰越金」関係

前年度決算において基金への積立てを行いました。前年度比では 9,339 千円の増額になりました。

⑤ 7 款「諸収入」関係

雑入については、実習生受入謝礼の減などにより全体として 51 千円の減額となりました。

歳出について

歳出総額は、388,795千円となり、前年度決算額(390,235千円)対比1,440千円(0.4%)減額となりました。その主な特徴は以下のとおりです。

① 2款「総務費」関係

1項1目の一般管理費において、障害福祉サービス報酬改定、定額減税及び児童手当制度の改正に伴うシステム改修の関係経費が増えたことにより対前年度比1,365千円の増額になりました。

1項2目の財産管理費において、需用費でガスヒートポンプ空調機の修繕料1,100千円、工事請負費で、魚沼学園棟外壁塗装工事費、2,068千円、魚沼更生園作業室照明甲子園工事935千円を含む5件の工事、また、ノートパソコン購入1台204千円を執行しました。

1項3目の基金費では、前年度の繰越額を含む4,600千円を財政調整基金に積増し、施設整備基金に利子分の積立として26千円積増ししました。

その他事務的経費の支出抑制に努めた結果2款全体では、予算現額に対して1,785千円が不用額となりました。

② 3款「民生費」関係

1項1目児童福祉総務費では、人件費について給与改定による増額がありましたが、会計年度任用職員の魚沼更生園への配置換えにより人件費全体で3,764千円の減額となったほか、需用費、委託料も減額となり、総務費全体では対前年度比3,978千円の減額となりました。

魚沼学園利用児童に対する飲食物費、日常諸費を含む指導訓練費は児童数が減少したことにより、1,108千円の減額で11,651千円を執行しました。

2項1目社会福祉総務費では、人件費について給与改定による増額及び会計年度任用職員の魚沼学園からの配置換えにより人件費全体で18,144千円の増額となり、総務費全体で対前年度比18,172千円の増額となりました。

魚沼更生園利用者に対する飲食物費、日常諸費を含む支援費は、入所者の1名退所に伴う減や嘱託医委託の1名分の減により、1,241千円の減額で28,313千円を執行しました。

なお、利用児童に必要な備品として木製ベッド2台、112千円の購入をしました。

③ 4款「公債費」関係

魚沼学園建替事業の財源として、平成26年度及び平成27年度に発行された組合債の元金及び利子償還分39,769千円のほか、一時借入金の利息を執行しました。

第2 業務の概要と成果

1 入所児童・利用者の概況（令和7年3月31日現在）

(1) 入所児童・利用者の状況

魚沼学園【定員 21 / 在籍 12 人】

ア 年齢別児童数

(人)

性別 \ 年齢	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	計
男		1				1		2	2	1	1	1						9
女							1					1	1					3
計		1				1	1	2	2	1	1	2	1					12

イ 学年別児童数

(人)

性別 \ 学年	小学部						中学部			高等部			未就学児	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男	1				1		2	2	1	1	1			9
女						1					1	1		3
計	1				1	1	2	2	1	1	2	1		12

ウ 障害程度（IQ指数）別児童数

(人)

性別 \ 区分	軽度		中度		重度		計
	61以上	60～51	50～41	40～36	35以下	IQ測定不能	
男	1		2	2	1	3	9
女	1	1			1		3
計	2	1	2	2	2	3	12

エ 入所理由別利用者数

(人)

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延計
契約	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	95
措置	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	5	44
計	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	139

※ 主な合併症の症状

・発達障害 ・てんかん ・アレルギー

魚沼更生園【定員 40 人／在籍 39 人】

ア 年齢別利用者数

性別 \ 年齢		(人)																		計							
		21	22	26	29	30	37	39	40	44	45	46	47	48	49	50	51	53	54		55	57	59	61	64	66	69
男		2	1	1	1		1	1	1		1	3		4		2		2	1		1	1	1			1	25
女					1			1		2		2	2	1		1			1	2	1						14
計		2	1	1	2		1	2	1	2	1	5	2	5		3		2	2	2	2	1	1			1	39

イ 障害支援区分認定別利用者数

		(人)						計
性別	区分	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	
男			1	1	4	10	9	25
女				1	5	5	3	14
計			1	2	9	15	12	39

※ 主な合併症の症状

- ・てんかん ・ダウン症 ・自閉傾向 ・双極性障害 ・身体障害
- ・難聴 ・橋本病 ・痛風 ・脂質異常症 ・アトピー性皮膚炎

(2) 市町別在籍者数

区分 \ 市町		(人)									合計
		長岡市		小千谷市	十日町市	南魚沼市	湯沢町	津南町	魚沼市	構成市町外	
施設	性別	旧山古志村	旧川口町								
	魚沼学園	男			2	3	2			1	1
女				1	1				1		3
計				3	4	2			2	1	12
魚沼更生園	男		2	5		8			10		25
	女	1		6		3			4		14
	計	1	2	11		11			14		39
合計		1	2	14	4	13			16	1	51

(3) 入退所の状況

魚沼学園

	発生年月日	男女別	発生時 年齢	出身市町	備考
入所状況	令和6年4月1日	男	14	構成市町外	
	令和6年4月1日	男	17	小千谷市	
	令和6年9月25日	女	12	小千谷市	
	令和7年3月24日	男	11	十日町市	
退所状況	令和7年3月24日	男	18	魚沼市	

魚沼更生園

(人)

	発生年月日	男女別	人数	発生時 年齢	出身市町	備考
入所状況						入所なし
退所状況	令和6年11月26日	男女別	1	38	十日町市	

(4) 月別利用者数

(人)

施設 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延計
魚沼学園 定員21人	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	139
魚沼更生園 定員40人	40	40	40	40	40	40	40	39	39	39	39	39	475
計	51	51	51	51	51	52	52	51	51	51	51	51	614

2 短期入所事業・日中一時支援事業の状況

(日)

施設 \ 事業名	短期入所事業	日中一時支援事業	延計
魚沼学園 利用延べ日数	312	2,158	2,470
魚沼更生園 利用延べ日数	252	0	252
計	564	2,158	2,722

3 職員の状況（令和7年3月31日現在）

(人)

施設	正職員											会計年度任用職員	合計	
	園長	庶務課			指導・支援課					計				
		課長	係長	主事	課長	課長補佐	係長	児童指導員	保育士		生活支援員			看護師
魚沼学園	[1]	[1]	1	[1]	1		1	1	4		1	9	2	11
魚沼更生園	1	1	[1]	1	1	1	1			14	1	21	14	35
計	1	1	1	1	2	1	2	1	4	14	2	30	16	46

* 『[]』は兼任を表し、合計値には反映しない。

* 正職員数には休職職員を含み、会計年度任用職員数には一時的雇用及び短期労働者を含まない。

4 施設運営・支援の概要

(1) 施設運営について

① 魚沼学園

福祉型障害児入所施設として、今年度は入所定員 21 人に対して 11 人でスタートしました。年度中に 2 人の入園と 1 人の卒園があり、年度末には 12 人の在籍となりました。内訳は、措置児童 5 人、契約児童 7 人です。

また、在宅の児童の支援として日中一時支援事業と空床型短期入所事業を行いました。

② 魚沼更生園

指定障害者支援施設として、今年度は入所定員と同じ 40 人でのスタートとなりました。年度途中で 1 人の退所があり、年度末の入所者は 39 人となっています。

また、在宅の方の支援のため空床型短期入所事業及び空床型通所生活介護事業を行いました。

(2) 利用児者の支援について

利用児者に対する支援サービスについては、魚沼学園では児童発達管理責任者、魚沼更生園ではサービス管理責任者を中心として、利用児者の意向、適性、障害の特性、保護者の希望やその他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、これに

基づく支援サービスを提供しました。

また、新型コロナウイルス感染症の他様々な感染症等に留意しながら、少しずつコロナ禍以前の状態に戻していき、利用児者が楽しめるよう工夫を凝らした活動を行いました。

なお、サービス提供中の利用児者の状況変化に対応するため期間を定めてモニタリングを実施し、支援内容等の見直しを行いました。

こうした取組を通じて、安心して生活できる環境づくりを進めるとともに、利用児者の状態に即した支援の提供に努めました。

(3) 関係機関や地域との連携

施設運営にあたっては、県の関係機関（障害福祉課、児童相談所等）から指導や情報提供を受けるとともに、構成市町の福祉関係課、相談支援センターの他、知的障害者福祉協会などの関係団体や県内の同種施設等からの情報収集を行いながら連携の強化を図り、サービスの質の向上や利用児者の満足度の向上に努めました。

前年に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、魚沼学園・更生園の保護者会総会を開催し直接話し合う機会を持た他、まだ以前のようにはできませんでしたが、様々な場面で保護者の皆様からご協力をいただきました。

魚沼学園では、入所児童が通う小出特別支援学校との情報交換を行い、より良い支援が行われるよう努めました。また、卒業後の進路について関係機関等と連携するとともに、必要に応じて関係者会議等で検討を行いました。

短期入所、通所生活介護事業及び日中一時支援事業は、利用希望者のニーズに合わせたサービス提供ができるように相談支援センターを中心に情報共有や関係者会議を開催しました。また、地域移行を目指している入所者については他施設での自立支援サービスや就労支援サービスの利用を促進しました。

地域との連携については、様々な場面でのボランティア活動の受入、地元十日町区の施設強化委員の方々の総合避難訓練への参加、地域のイベント等への利用児者の参加、利用者の作品の展示即売等を通じて、地域の人たちとの交流を深めながら障害児者への理解を求める活動に取り組み、可能な限り以前の形に戻していくことができました。

4 今後の課題

(1) 中期運営計画について

組合運営の基本的な計画として令和5年度から令和9年度が期間となっている第2期中期運営計画に基づいて施設運営と体制強化を図りました。今後は現実に即した検証と見直しを行いながら、国の福祉施策の動向や社会環境の変化に柔軟に対応していかなければなりません。

(2) 安定した施設運営とサービスの質の向上について

当組合では、退職職員の補充を非常勤職員等で対応していた時期が続いた結果、アンバランスな年齢構成等による組織の弱体化や短期間での職員の入れ替わりの課題などに対して、サービスの質を維持するように努めてきました。職員の約3割を会計年度任用職員が占める一方、人材確保が非常に厳しい状況の中で安定した施設運営とサービスの質の確保・向上のために計画的な職員採用とキャリアに応じた研修の機会の確保が重要となっています。

(3) 施設の老朽化対策

本年度は、傷みが目立つ魚沼学園棟の塗装をおよそ半分の面積で行いましたが、残り半面の塗装の他にも計画的に施設改修を継続する必要があります。

また、魚沼更生園は建築から40年以上が経過しており、基本的に4人部屋といった設計思想の古さに加え、利用者の加齢や重度化に伴うバリアフリーの推進や安全対策等も検討していかなければなりません。

今後は地域包括ケアをはじめとする制度の動向等も勘案しながら、施設運営の方向性を検討する必要があります。

(4) 組合構成市町からの財源負担等について

魚沼学園、魚沼更生園は公立の一部事務組合施設であるため、給付費の算定において一般の社会福祉法人より減算されており、収支の不足については組合構成市町からの分担金で補わざるを得ません。また、令和17年度までは魚沼学園建替事業に係る起債の償還も続きます。さらに昨今は物価高騰と並行して人件費が増加してきていることから財源確保の対応が求められています。

このため、サービスの質の確保と効率的な施設運営といった全体のバランスに配慮しながらも、最低限となる負担増について組合構成市町に依頼していかなければならない状況になっています。